

ぽぽむとは…

「いっほ、いっほ、すすむ」という思いがこめられています。

発達障がいのある人もない人も共に生きやすい社会となるよう、一人ひとりの特性に合わせて障がいの理解、社会参加の場の提供、環境の整備、普及啓発などの支援をします。

調布市こころの健康支援センターのすべての事業と連携しています。

- こころの相談
- デイ事業
- 自立訓練(生活訓練)事業
- 就労支援室ライズ(障害者就労支援事業)
- 相談支援事業(特定・障害児)
- 家族支援事業
- 市民への普及啓発(講演会・広報誌)

ご利用の案内

月曜日～土曜日(センター開所時間)

8:30～17:30

(※日曜・祝日・及び12月29日～1月3日を除く)

まずはお電話でご予約ください。
電話 042-490-8166

交通アクセス



京王線調布駅

中央改札中央口を出て南側より徒歩12分

京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分



小島町3丁目下車 徒歩3分

調41-43

調布駅入口下車 徒歩6分

調01-21-50-51

次26・玉08・丘31・成04

MAP



〒182-0024 東京都調布市布田 5-46-1

調布市こころの健康支援センター

TEL:042-490-8166

FAX:042-490-8167

運営◎社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

<http://kokoro.chofu-city.jp/>

調布市こころの健康支援センター
発達障害者支援事業

ぽぽむ



発達障がいのある人の
自立と社会参加、生きやすい
環境整備を支援します。

運営 社会福祉法人
調布市社会福祉協議会

●発達障害者支援体制整備推進事業●

ご利用のご案内

対象

市内在住で、発達障がいのある方
または発達障がいの疑いがある方。

～このようなときはご相談ください～

- 「小さいころから周りとなじめず、仕事も続かない」
- 「思いや考えを相手に伝えるのが苦手な家族と上手くいかない。」
- 「言われた通りに実行したつもりなのに、間違いを指摘されるなど仕事が上手くいかない。」
- 「発達障がいと診断されたけど、これからどうすればよいのかわからない」

発達障がいの主な特徴

生まれつきの脳の機能障がい、対人関係・社会性・想像力に障がいがあり、幼児期や小学生時代から周囲となじめないと感じる方もいます。感覚過敏・視野の狭さ・不器用さなど身体症状のある方も多く、会話だけでは情報を適切に受け取りにくい・冗談を真に受けてしまうなどのコミュニケーション障がい等によって、学校や職場での生きづらさがあります。

ほほむではこのようなサポートをしています

相談

日常生活や対人関係の困りごと、障がい特性、精神科の受診、福祉サービスの利用、日中の通い先、就職などについて相談をお受けします。

個別支援室「ベース」 ～自分のペースで行う個別ワーク～

集団参加に自信のない方が、安心して利用できる訓練の場所です。

障がいの自己理解・就労準備・生活リズムを整える等の目的を設定し、自分のペースで個別作業をします。職員と相談して利用予定表（週間・月間）を作成し、利用時はマニュアルや日報を活用します。自分に適した環境、集中力、疲労度などの把握に役立ちます。

実施日：月～金 9:00～16:30

作業例 パソコン作業、請求書チェック、切手仕分け



「カモミールの会」

～発達障がいのある当事者向けの茶話会～

毎回テーマを決めて茶話会を行っています。日々の困りごとやそれに対する工夫等の体験談を参加者で共有しています。(進行：スタッフ)

テーマ例 「紙・書類の整理」「外出前の支度」「家事」「服を選ぶ・しまう」「スケジュールに合わせた行動」
※発達障がいの診断が確定している方

グループワーク

～集団参加の体験～

10人程度の固定したメンバーで活動し、対人関係の力をつけます。

プログラム例 スポーツ、調理、外出、ミーティング
※障害福祉サービス受給者証がとれる方

就労支援室ライズ(障害者就労支援事業)

企業就労を希望している方に就労準備から職場定着までの支援をします。

どのような職場が適しているのか考えるために、ご自身の障がい特性や過去の就労経験を整理するための相談書式を用意しています。

また、コミュニケーションプログラムの実施、職場向けに障がい特性の説明をする機会も設けています。